

平成27年8月12日

まちづくりふれあいトークで出された
質問や要望の対応について

【余川地区】

氷 見 市

平成26年度のふれあいトークで出された質問や要望の対応について

区分	地区No	年度	項目	意見の内容	回答	対応策または不可能な理由等	対応可能性 と対応時期 (H27.6月見直し)	27年度担当部署
会場	601	26	防災	スクリーニングポイントはUPZ圏内での設置なのか。実際の事故の際には風の方向などにより、圏外でも関係なく放射性物質の下降がみられると思うが安全なのか。	11月23日の防災訓練においては、30km圏外のすぐ外の場所にスクリーニングポイントを設置して訓練を実施しました。これは、氷見市原子力防災避難計画をとりまとめた本年7月当時、設置場所について国からの基準が示されていなかったため、仮の設置場所となっていました。 現在は、国の基準も示されていますので、県の避難計画要綱の改訂を踏まえて、11月23日の防災訓練での結果も参考に、市の防災会議での協議を経て、より適切な設置箇所の選定をしていきたいと考えています。	スクリーニングポイント設置の考え方が変更になり、UPZ境界周辺から避難所までの場所に設置することとされましたが、しっかりとした基準が示されていない現状にあるため、スクリーニング実施体制の構築について国に要望してまいります。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	602	26	防災	国の決定を待っていたら遅い。地域から「こうしたい」を提案いただきたい。地域担当職員とともに現場からの提案をあげていく活動は良いと思う。	地域の実情を踏まえた提案を、言うべきは言うという姿勢で臨んでまいります。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	603	26	防災	県の防災訓練が毎年計画されているが、県の訓練だけでは物足りない。氷見市として独自の訓練を率先してもよいのでは。	H24、25と、富山県、石川県、高岡市、氷見市が連携して訓練を実施しました。H26年の11月2、3日には、国も参加しての訓練として、氷見市からの避難者を高岡市の避難所に一時的に移転する訓練も実施したところです。 氷見市単独での訓練を実施するならば、屋内退避訓練、安定ヨウ素剤配布訓練をすることが可能であり、地域からの要望があれば、訓練を実施したいと思います。	原子力総合防災訓練のみならず、簡易な避難訓練の実施も検討してまいります。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	604	26	防災	安定ヨウ素剤の服用基準はどうなっているのか。	13歳以上2錠、3歳以上～13歳未満は1錠のヨウ素剤を服用いただくことになっています。錠剤では飲みにくい乳幼児等の服用では、水溶液タイプのものもあります。既往症のある方には服用に害がある場合もあり、医師の判断が必要となっています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	605	26	防災	安定ヨウ素剤の配布は災害起こってからでは遅いのではないかと。医師や薬剤師の処方により配布をするというが、到着にどれくらいかかるのかわからないし、原発災害だけでなく、地震などがあつた場合は到着できないのではないかと。	緊急時に、医師や薬剤師が不在のことも想定されます。市職員でも配布への対応ができるよう、研修等を実施してまいります。	安定ヨウ素剤を備蓄については、UPZ内14箇所の一時集合場所等に備蓄済であります。余川地区ではJA氷見市余川支所に備蓄しています。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021

会場	606	26	防災	原発再稼働の是非について氷見市は意思表示できるのか。考え方を市長に聞きたい。	市民の皆さんの声で判断したい。再稼働の判断は国の決定であるということに留意しながら、市民の皆さんの声をまとめて上げていきたいと考えています。氷見市では、30km圏内の自治体として、原発の立地自治体並みの安全協定を結び、再稼働の是非について自治体として一票投じられるように北電に要請しています。また、情報連絡体制については、立地自治体である志賀町と同じ体制を実現することができましたが、引き続き、より総合的な安全協定の締結を要請してまいります。		<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	607	26	道路	余川地区で実施された市の工事内容についての説明があったが、あいやまガーデン周辺の道路整備等は、本来、営利の個人・法人の取組みに関連するものであり、民間自身で整備すべきではないか。	あいやまガーデン周辺の道路整備については、観光等の交流人口拡大の観点で公益性があると判断し、整備をさせていただきました。ご理解をお願いいたします。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 市道整備担当 74-8074
会場	608	26	地域	(地域活性化グループ) 市から余川地区にあったプランを示して欲しい	活性化のビジョン共有や地域にあるもの、ないもの等の地域資源整理を、地区の皆さんとワークショップ等を通じて、ともに調査・学習・協議をさせていただきました。たたき台としてのプランを示すことが可能です。活性化プランを実行するための推進組織の立ち上げなども並行しながら、こうした協議をすすめる機会に、市職員を派遣いたします。いわゆる「地域づくり協議会」の設立準備会に対する補助制度や、市のコミュニティ活動の補助制度も活用して、プランの内容によって、より適切な専門家の招へいや先進地視察をするなど、プランの具体化を図っていただきたいと考えています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治 への未来対話推 進課 市民協働・ファン リテーション・地 域おこし担当 74-8013
会場	609	26	地域	(地域活性化グループ) 地域住民が集まる機会(イベント等)の創出 ・企画については、市からの提案を求む(イベント企画の専門家の紹介により案を得る)	活性化のビジョン共有や地域にあるもの、ないもの等の地域資源整理を、地区の皆さんとワークショップ等を通じて、ともに調査・学習・協議をさせていただきました。たたき台としてのプランを示すことが可能です。活性化プランを実行するための推進組織の立ち上げなども並行しながら、こうした協議をすすめる機会に、市職員を派遣いたします。いわゆる「地域づくり協議会」の設立準備会に対する補助制度や、市のコミュニティ活動の補助制度も活用して、プランの内容によって、より適切な専門家の招へいや先進地視察をするなど、プランの具体化を図っていただきたいと考えています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治 への未来対話推 進課 市民協働・ファン リテーション・地 域おこし担当 74-8013
会場	610	26	地域	(地域活性化グループ) 地区広報誌の充実 ・地区情報(行事)を共有するための広報誌を作成 ⇒市からの補助金により、財源の確保	先行して設立されている仏生寺地区地域づくり協議会では、地区広報誌を発行し、住民に協議会での活動状況や今後の行事予定などを情報提供されています。この活動には、市からの地域づくり協議会活動への補助金が活用されています。また、これまでに地区内で発行されている広報誌の内容を充実させることで対応が可能であると考えられます。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治 への未来対話推 進課 市民協働・ファン リテーション・地 域おこし担当 74-8013
会場	611	26	地域	(地域活性化グループ) 地区ホームページの作成 ・広報誌と同様、地区情報(行事)の周知 ・他地域の住民の閲覧により、訪問者の増加	速川地区では、活性化協議会を設立し、フェイスブックページによる地区情報の発信をしています。現在、無料で開設できるホームページサイトやブログもあるので、どのような情報を地区内で収集・取材して発信していくのか、更新体制も決めて実施していけば対応が可能であると考えられます。市からは他地域での成功事例紹介や、ボランティアセンターでの相談窓口のご紹介、市広報HP等でのサイト紹介等が可能であると考えております。ぜひご相談ください。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治 への未来対話推 進課 市民協働・ファン リテーション・地 域おこし担当 74-8013

会場	612	26	防災	(原子力災害対策グループ) 氷見市としての対策、責任の所在などはどうなっているのか知りたい。	H26年10月に避難計画を策定し、具体的な一時集合場所、避難所などをお示しするとともに、安定ヨウ素剤の服用等について規定した地域防災計画の改定を行いました。(余川地区の一時集合場所は、旧余川小学校の「余川公民館」) この計画等に基づき、11月2日・3日には、国も参加した総合的な原子力防災訓練を実施しました。また、同10月に、原子力防災の基本的事項を記載した「原子力防災パンフレット」を全戸配布し、啓発にも努めたところであります。一方、北陸電力との安全協定については、平成24年に実務者協議を実施して以来、しばらく中断状態となっていました。H25年8月に再開しており、今後も立地自治体と同等の安全確保を目指して引き続き協議してまいります。なお、事故等に関する情報提供については、H26年10月27日から暫定的に、志賀町と同様の連絡基準に則り運用されることとなりました。 原子力の一連の権限は、国の専管事項であり、再稼動についても国の権限と責任において総合的に判断されるものと考えますが、その結果については、住民をはじめ、立地県はもとより周辺自治体も理解し納得できるよう説明されることが肝要と考えます。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	613	26	防災	(原子力災害対策グループ) スクリーニングポイントの場所などはっきりと示してほしい。決まっていないことが不安である。	スクリーニングポイントについては、国から示された基準を基に、現在、県等と協議中であります。多くの住民が集結することから、場所、人員、運営面等で課題は少なくありませんが、関係機関等と調整の上決定してまいりたいと考えています。	設置場所を含め、スクリーニング実施体制の構築について国に要望してまいります。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	614	26	防災	(原子力災害対策グループ) 早く説明会を開催してほしい。	原子力防災の課題の一つとして、安定ヨウ素剤の配布・服用対策があります。緊急時に安定ヨウ素剤を配布する際、問診の方法等については、迅速な避難を図る上で大きな課題であると認識しています。このため、あらかじめ安定ヨウ素剤受領のためのチェックシートを配布し、事前に説明しておく方法(医師会等との調整も必要になりますが)なども有効と考えており、この点を中心に説明会の開催を検討してまいります。 また、万が一の原子力災害への備えとしては、原子力防災訓練への参加が最も効果的であると考えており、余川地区で実施の運びとなった場合には、是非参加いただきたいと思います。	石川・富山県合同の原子力防災訓練日程が決まり次第、地区と相談し、講習会の実施を検討します。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	615	26	防災	(原子力災害対策グループ) 市長には原発再稼動への意思をはっきり示してほしい。	原子力の一連の権限は、国の専管事項であり、再稼動についても国の権限と責任において総合的に判断されるものと考えますが、氷見市としては、避難計画の策定が求められているUPZ圏を有していることから、当然、再稼動にあたっては、同意を求められる地元の範囲に入ると考えています。 北陸電力は、H26年8月に、志賀原発2号機の新規制基準への適合性確認に係る申請を行いました。原発の根本にかかわる敷地内断層問題については未だ結論が出ていない状況にあります。 今は、市民の皆様の声にじっくりと耳を傾ける状況であると考えています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	616	26	防災	(原子力災害対策グループ) 安定ヨウ素剤の事前説明をしてほしい。どんな人が飲めて、どんな人が飲めないのかのチェックシートを事前配布してほしい。	原子力防災の課題の一つとして、安定ヨウ素剤の配布・服用対策があります。緊急時に安定ヨウ素剤を配布する際、問診の方法等については、迅速な避難を図る上で大きな課題であると認識しています。このため、あらかじめ安定ヨウ素剤受領のためのチェックシートを配布し、事前にかかりつけの医療機関に相談していただくなど、自分は服用して大丈夫なのかという確認をとっていただくことは非常に重要なことだと思います。服用中の薬とか健康状態等は変わることがあるので、定期的に確認していただく必要はありますが、今後、医師会等関係機関と事前配布について検討します。	石川・富山県合同の原子力防災訓練日程が決まり次第、地区と相談し、講習会の実施を検討します。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021

会場	617	26	防災	(原子力災害対策グループ) UPZなど用語が英語やカタカナで難解。家に帰って家人に説明ができない。子どもにもわかるような表現をしてほしい。	ご指摘のとおり、原子力防災については、専門的な言葉が多く使用されており、自分が理解していても他人に伝える時に苦勞するなど、悩ましいところがあります。もちろん、万一の際の情報伝達としては、当然、難解な言葉など使用せずに、簡潔明瞭に指示等を出しますが、原子力防災の啓発時には、できるだけわかりやすい表現、丁寧な説明に心がけたいと思います。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	618	26	学校	(空き家対策グループ) 余川小学校プールを解体できないか、駐車場に!	氷見市では、公共施設等総合管理計画の策定準備を進めており、計画の策定を待って、緊急性や必要性を考慮しながら施設の改廃を検討していきたいと考えています。 旧余川小学校のプールについても、計画の中に盛り込み議論のテーブルに載せていきたいと考えています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	教育総務課 総務企画担当 74-8211
会場	619	26	空き家	(空き家対策グループ) 利用できない空き家は、市で買い上げできないか。寄付はありだと思ふ。!	空き家を市の所有物件とするには、公共施設としての利活用が原則となります。 また、土地を寄付する条件として、土地に賃借権等が設定されていないこと、寄付後の土地の維持管理に支障がないこと、地元自治会が地域活性化のための利用計画を作成し、維持管理の同意が得られるものとしています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治 への未来対話推 進課 定住・空き家対 策・中心市街地 担当 74-8105
会場	620	26	定住	(空き家対策グループ) 鳥取か島根で家も仕事も探して移住をあっせんしている。市でもそういう定住策を考えられないか。	島根県では、ふるさと島根定住財団がネットを活用して、市町村別に仕事×住まい×暮らしをセットしたおすすめ定住プランを紹介しています。 本市でも、新年度に氷見市への移住希望者向けに、オーダーメイドのひみ体験ツアーを企画しており、その成果をもとにさらに効果的な定住対策を講じてまいります。 また、現行制度として空き家情報バンクがあり、これまでに38世帯76人が移住されています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治 への未来対話推 進課 定住・空き家対 策・中心市街地 担当 74-8105
会場	621	26	空き家	(空き家対策グループ) まだまだ使える家 管理費に対して補助できないか	市では、利用可能な空き家を登録していただき、市外の移住希望者に売却や賃貸の空き家情報を提供する空き家情報バンク制度を設けております。 この制度を活用し、空き家を売却、賃貸していただき、所有者の収入につながるようおすすめしています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治 への未来対話推 進課 定住・空き家対 策・中心市街地 担当 74-8105
会場	622	26	空き家	(空き家対策グループ) 空き家を壊すのに30万円はムダな気がする。空き家にならないようにリフォームする費用に助成できないか。	「危険老朽空き家対策補助金交付事業」は、平成24年度から実施しており、平成24年度と平成25年度の2年間で4件、平成26年度は1件申請中です。 「リフォームに対する助成」については、人口減少対策や地元工務店の活性化などに繋がるよう、また、どのような人を対象とするか等検討したいと考えています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 建築・住宅担当 74-8079 地方創生と自治 への未来対話推 進課 定住・空き家対 策・中心市街地 担当 74-8105

会場	623	26	企業誘致 (高齢化社会の対応グループ) 若い人に帰って来てもらう施策を⇒市はどう考えているのか？小矢部アウトレット、射水コストコ、行政が力入っていた。	本市では、製造業などの既存企業の増設にも企業立地助成金を交付しており、既存企業の業務拡大による雇用の創出を図っています。また、製造業だけでなく、ソフト開発やデザインといったクリエイティブな企業、地域の特性をいかした企業などの誘致に取り組んでいます。	27年度は、「ひと・まち・しごと」について地方創生総合戦略を策定し、若者等市民が氷見で働くことができる産業の創造と企業誘致に取り組んで参ります。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 商工立地・交通対策担当 74-8105
会場	624	26	防災 (高齢化社会の対応グループ) 原子力防災は、高齢者・障害者の避難を考えてあるか？	高齢者の方など、災害時に自分一人では避難できない方への支援は、原子力防災に限らず、自然災害においても大きな課題であります。現計画では、避難の場所・方法などの方針は示してありますが、市外の福祉避難所等との調整などは、これから詰めなければならない部分です。 また、高齢者の方などの支援には、地区社協、自治会をはじめとする各種団体をはじめ、近隣住民の皆さんの協力が不可欠であります。 今後、避難に際し支援が必要な方について、地区毎に名簿を整備し、個別計画の作成などに取り組んでまいりますので、地域の皆さんの協力をお願いしたいと考えています。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
会場	625	26	地域 (高齢化社会の対応グループ) 市の補助金(クワイエット・マイ・タウン事業)⇒分かりにくい⇒広報に載せては？	分かりにくいのご指摘、広報掲載へのご提案をありがとうございます。市のHPや市広報(補助金申請時期、毎年4月)に掲載し、制度のあらましの解説とともに、募集記事を掲載させていただいておりますが、よりわかりやすい説明や表現、図表の活用などに努めてまいります。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地方創生と自治への未来対話推進課 市民協働・ファンリレーション・地域おこし担当 74-8013
会場	626	26	税務 (高齢化社会の対応グループ) 市民税はパソコンで用紙を発行したらよいのではないか。住民票等をパソコンで請求⇒発行⇒市役所へ行かなくてもよい⇒何か考えてほしい	住民票等の証明につきましては、運転免許証などにより本人確認書類をご提示いただいています。パソコンでの申請は利便性もあり手軽なものと認識していますが、本人確認の観点から、クリアしなければならぬ課題もあります。これらのことから、氷見市のホームページに記載されています申請書を活用していただき、郵便での申請もできますので、ご理解いただきますようお願いいたします。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	税務課 市民課 納税推進班 74-8041
会場	627	26	企業誘致 (高齢化社会の対応グループ) 氷見の人間は番屋街へあまり行っていない。⇒働く場所になっているのか？	ひみ番屋街には、出店数33店舗で、概ね180人が雇用されており、ひみ番屋街での平成25年の入込数は市民や観光客など、1,147,500人となっております。今後も、雇用創出や雇用を維持する観点からも、ひみ番屋街での入込客数が増加するよう、関係企業や関係団体等と協力していきます。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 商工立地・交通対策担当 74-8105

会場	628	26	鳥獣 害対 策	(イノシシ対策グループ) 檻の設置を増やしてほしい。	今年度、余川地区には1基増設し、計3基を設置しております。 イノシシ被害は市内全域で発生しており、被害集落からの要望が多いことから、27年度も捕獲檻を増設する予定としております。 しかし、今後は単に捕獲檻を増やすのではなく、効率的な捕獲の実施が必要となると考えております。 なお、捕獲実績を見ますと集落ぐるみで根気よく管理しないことには捕獲につながらない事例が多く見受けられます。 また、捕獲檻の設置は、捕獲のために餌付けを行うことから無用にイノシシを農地などに誘引する結果ともなり兼ねないこと、また、捕獲檻の危険性を十分認識しないまま興味本位で近寄り事故を招くなど問題も多くありますので、十分な注意が必要となります。	今年2月に開催された研修会で江口先生の講演にもあったとおり野生動物の餌場の排除、隠れ場所の排除、農地からの防除を行って、それでも農地や集落周辺に現れる個体は捕獲するといった対策になります。 なによりも野生動物に餌や隠れ場所を与えない環境(野生動物にとって魅力の無い環境)を集落ぐるみでつくるのが大切です。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	いのしし等鳥獣 害対策室 30-7088
会場	629	26	鳥獣 害対 策	(イノシシ対策グループ) 市の対策・方向性を決めるべき。	鳥獣被害対策の基本は、生息環境管理(近づけない)、防除(侵入させない)、捕獲(個体数管理)の3本柱となっています。 ① 生息環境管理(近づけない) 生息環境管理は、放任果樹の伐採、農作物等の収穫残渣の処理、二番穂を与えないため収穫後の秋起こしの実施など集落や農地周辺をイノシシの餌場としないこと。また、集落付近の放置竹林の伐採など里山の整備、耕作放棄地の刈り払いなどを行い隠れ場所、棲みか、餌場の排除を行いイノシシにとって棲みにくい環境をつくることです。 ② 防除(侵入させない) 防除は、農地などを電気柵などの侵入防止柵で囲みイノシシを侵入させず被害を防ぐことです。 ③ 捕獲(個体数調整) 捕獲は、被害を及ぼすイノシシを捕獲し、農地周辺に現れる加害個体を減らすことです。 この3本柱を組み合わせた対策を集落ぐるみで行うことが大切です。個人で行うより集落ぐるみで実施することが効果を上げることとなります。 なお、どれかひとつの対策のみとしたとしても、労力の割りに効果が上がらないことは他県の事例にも現れていますので、3本柱の組み合わせが大切です。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	いのしし等鳥獣 害対策室 30-7088
会場	630	26	鳥獣 害対 策	(イノシシ対策グループ) 講習会、行動範囲を調べる。	氷見市鳥獣被害防止対策協議会において、毎年「イノシシ被害対策講習会」や「電気柵設置講習会」などを開催しています。 今年度の「イノシシ被害防止対策講習会」は、イノシシ行動研究の第一人者である近畿中国四国農業研究センターの上席研究員である江口祐輔さんをお招きし講習会を開催いたします。(2月5日開催) イノシシの行動範囲調査については、県自然保護課において県内イノシシについて調査も行っています。 また、いろいろな調査において概ね数km ² との報告もあります。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	いのしし等鳥獣 害対策室 30-7088
質問	631	26	教育	先生が学校以外の行事にもっと関わる。クラブ活動など増やすといい	児童生徒数の減少に伴い、教職員の定数も減少しており、部活を増やすことは難しいと考えます。地域行事に対しては、教員の理解が深まるよう努めてまいります。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	学校教育課 学務担当 74-8213

質問	632	26	能越	①能越道高岡北～氷見に追い越し車線が1箇所しかない。追い越し車線を増やすことによって交通事故が発生した時でも通行止めを緩和することになると考えます。氷見北～七尾は2車線箇所をつくることを検討してください。	能越自動車道は能登輪島市と小矢部・砺波ジャンクションを結ぶ高規格道路です。能越自動車道は本来、片側2車線の上下で4車線の道路ですが、輪島市までの全線開通を優先事項として、氷見市内は2車線で暫定開通しております。片側2車線化は全線開通後のことになると思います。その間の安全対策の一つとして、追い越し車線の追加につきまして、国土交通省に相談してまいりたいと思います。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 能越道等事業調整担当 74-8071
質問	633	26	防災	原発避難訓練は、一度各地域で行った後に市全体で行なってほしい	原子力防災体制の充実の観点から、過去の訓練結果を踏まえて、より実効的な訓練の実施について検討してまいります。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
自由	634	26	介護 保険	ボケ対策	国では「痴呆」から「認知症」へと平成16年12月に呼称が変更され、認知症対策として「みんなで認知症の人とその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつくっていく運動」が始まりました。市では、その一環で「認知症が高齢者にとって身近な誰にでも起こる脳の病気であることを知っている、また、認知症の人や周囲の人に対し、優しい心をもつ」認知症サポーター養成講座を平成20年度から行っています。平成26年度末で延べ5,196人を養成していますが、引き続き、今後も老人クラブ・小学校・ふれあいランチ・各地区に出向き、養成講座を開催します。	養成講座の講師役のキャラバンメイトも育成して、対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	福祉介護課 介護保険担当 74-8066 地域包括支援センター 74-8067
質問	635	26	防災	原発事故発生時における避難ルートについて（イメージ）物理的に無理でしょう。もっと現実的で	避難ルートはあくまでも基本的なルートであり、緊急時の状況に応じて柔軟かつ迅速に対応する必要があると考えています。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
自由	636	26	都市 整備	大きな公園がない。おとぎの森や環水公園まで行くことが多々ある	現在、氷見市の拠点施設となる公園として、朝日山公園整備を整備しております。1日でも早い完成を目指し、完成後には市民の皆様に楽しんでもらえるような公園にしていきたいと考えております。	早期完成を目指し、市民の皆様に楽しんでもらえるような公園にしていきたいと考えております。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	都市計画・まちの ランドデザイン 課 朝日山公園・まちの ランドデザイン担当 74-8078
自由	637	26	子育て 支援	若いお母さんが子育て出来ない！保育園に入れるために自分が働かなければならないのはなぜ！下に小さな子ども（0歳児）がいるため	保育所は、保護者が仕事や病気のためにご家庭で保育ができない場合に保護者にかわって保育を行う施設です。保護者がこのような状態でない場合に利用できる施設として、3歳以上のお子さんであれば、教育・保育の機能を併せ持つ認定こども園を利用することができます。また、市内には市の子育てセンターをはじめとして8箇所の子育て支援拠点施設で子育てを支援しています。子育ての相談やリフレッシュにお気軽にご利用ください。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	子育て支援課 保育サービス担当 74-8116

自由	638	26	公共交通	①自家用車がないと不便	氷見市全体の公共交通について、平成27年度から取り組む立地適正化計画のなかでも、検討していく予定です。		<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	商工観光・マーケティング・おもてなしブランド課 商工立地・交通対策担当 74-8105
自由	639	26	病院	②小児科の夜間救急だと高岡まで行かないと対応してもらえない点	富山県では、夜間、休日の初期救急医療体制を維持するため、各医療圏の救急医療センターに小児救急外来を設置して対応しております。氷見市を含む高岡医療圏においては、高岡市急患医療センターが対応しており、医療圏内の小児科医がローテーションを組んで診療に当たっております。市単独で小児救急医療を確保することは理想ですが、小児科医が極端に不足している現状では、医療圏単位の協力体制による対応が現実的であることをご理解ください。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能	病院事業管理室 74-8125
自由	640	26	保育園	③栄町保育園合併の話が直前までなかった	保育所の統廃合や民営化などについては、保護者や地域のみなさまにご理解いただくための時間を十分にとってまいります。		<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	子育て支援課 保育サービス担当 74-8116

平成25年度のふれあいトークで出された質問や要望の対応のうち継続して対応しているもの

会場	1093	25	防災	志賀原発の異常事態発生に伴う30km圏内地区の防災対応について 地区は、志賀原発から30キロ圏内である。当原発で不測の事態が発生した際には、どのように情報伝達が行なわれるのか。東日本大震災の教訓も踏まえ、北陸電力、県、市で協定を交わすことも必要ではないか。 放射能測定器が八代と熊無に設置されたと聞いているが、それでカバーできるのか、他の地区にも設置する考えはあるのかも聞きたい。 原子力事故が発生した際には、どう対処すればよいか全くわからないことから、防災マニュアルの一日も早い整備をお願いしたい。このマニュアルが整備されれば、これに基づき、これまで4年に一度であった防災訓練も毎年行いたい。	原子力防災計画が策定されているので、これを参考にしてください。 当地区も国が定めた30キロ圏内です。ただし、放射能はどこへ飛んでいくかわからないものであり、あくまでも目安としてください。市民への情報提供については、緊急レベルに応じて行うこととしています。実際に避難することとなるのは、500マイクロシーベルト以上の放射線量が測定された時点です。情報提供手段としては、防災行政無線、CATV、市の広報車、エアメール等あらゆるものを活用し、お知らせします。また、避難ルートについては検討中です。 安全協定については、立地自治体と同様の安全性が確保できるよう北電と協議しています。 測定器について、今年度は移動式のを女良地区に、来年度は上田にも配備する予定です。これだけでは不足するので、人の手で測定する機器も増やしていくこととしています。	避難計画(案)については、平成26年7～9月に、UPZ内13地区に説明させていただき、同10月に策定いたしました。 原子力防災の基本的事項をとりまとめたパンフレットを10月に、避難計画の具体的内容を紹介したハンドブックを27年5月に、全戸配布させていただいたところ です。 訓練については、原子力総合防災訓練のほか、簡易な避難訓練の実施を検討しています。 また、放射線を測定するモニタリングポスト等については、増設を国・県に要望していきます。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input checked="" type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	地域防災室 74-8021
----	------	----	----	--	--	--	---	------------------

会場	1096	25	道路	スーパー農道の斜面の草刈りについて、一昨年に(市に)お願いして草刈りしてもらったが、昨年は刈っていない。今年は、住民11人で実施した。危険な斜面でもあるので、市で草刈りを実施していただけないか。 また、この道路ができたため、隣接する田(水路)の地盤沈下がみられるようになった。このことについても何とかならないか。	路肩から1メートルくらいまでのところは、市で草刈りを行っています。ただ、法面全体を市で行うことについては困難です。なお、市で新たに草刈り機を購入しました。まだ実際に使用したわけではありませんが、この機械でできるところまでやってみようと考えています。 また、詰まった水路の砂利をあげていただき感謝しています。広域農道については、今年から県より移管されたばかりです。実際に雨が降っている時に現地を見せてもらい、どうやって修復するか等県へも相談しながら、これから検討していきます。なお、この会館前の県道の水路につきましては、県へお願いして除去してもらうことになりました。	草刈り機で可能な範囲で対応します。 地盤沈下による田の水の流出については、平成26年度の県単土地改良事業により、水路の嵩上げを行いました。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 農林業基盤整備担当 30-7011
会場	1098	25	鳥獣対策	最近、余川の山手において、イノシシが出没している。6～8頭の集団を見かけた人もいる。今後、農作物への被害が予想されるが、市としての対応策やその特性についてのマニュアル、さらには被害補償について提示されたい。	今年度から専門的に対策を執るため「いのしし等対策課」を設置しました。主な対策として「イノシシの侵入防止対策」「捕獲の強化」「集落ぐるみによる対策」などが考えられます。なお、今年度の主な事業としては、市単独による侵入防止柵の設置補助金の創設、捕獲檻の大幅な増設、鳥獣に特化したパトロール員の配置などを行っております。 なお、農作物の被害額は、以下のとおりです。 平成24年度 998万円 平成25年度 590万円 平成26年度 267万円	平成27年2月5日ふれあいスポーツセンターにおいて、近畿中国四国農業研究センター江口祐輔氏による「イノシシの行動特性と農作物被害対策について」と題し、講演会を開催しました。これからのイノシシ対策は、野生動物の餌場の排除、隠れ場所の排除、農地からの防除を行って、それでも農地や集落周辺に現れる個体は、捕獲するといった対応になります。なによりも野生動物に餌や隠れ場所を与えない環境(野生動物にとって魅力の無い環境)を集落ぐるみでつくることが大切となります。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	いのしし等鳥獣害対策室 30-7088
会場	1101	25	空き家	最近、近所の空き家の前を通ったらトイレから異臭がした。衛生上も好ましくないものである。集落に空き家が5件ある。個人の財産なので難しいと思うが、市が指導・勧告できないものか。	空き家といえども、個人の財産であり、容易に処分できないのが現状です。ただし、老朽空き家対策につきましては、いくつかの補助メニューがあります。(この地区は対象とならないが)市街地において土地と家屋を市へ寄付していただければ、市の予算で空き家の取り壊しを行っています。また、解体費用の助成を30万円から50万円に増額した制度もあります。市内の建物のおよそ1割が空き家となっており、市としてもその対策に頭を悩ませています。	国の空き家対策法が制定されました。市としましては、この法律に基づき27年度中に「空き家等対策計画」を策定し、指導勧告に努めてまいります。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 年度内 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> 参考意見 <input type="checkbox"/> 不可能	建設課 建築・住宅担当 74-8079